



サステナブルに

校長 三浦 秀也

あの猛烈な残暑が懐かしく思えるほど、朝夕はめっきり涼しくなりました。でも、一晩中、虫の音は続いています。大雪山系の紅葉は例年よりも1週間以上遅れているそうです。それでも季節は確実に移ろいでいきます。いずれ紅葉が舞い、山々から初雪のたよりが届くことでしょう。学校生活の前半が終了し、折り返し地点となりました。季節の変わり目は体調を崩しがち、家庭での見守りもよろしく願います。

イソップのアリとキリギリスの影響か、働き者といえばアリやミツバチを想起するのではないのでしょうか。私も子どもの頃、先生がアリの社会性について話してくださったことを何となく覚えていて、教員になってからも学級・学年を何とかまとめたいと思ったときは、「アリはね…」「ミツバチはさ…」と子どもたちに話したものです。よく確かめもせずです。アリやミツバチは社会（巣）をつくって、女王アリ・女王バチを頂点にきっちり分業しみんなのために働いていて、怠けている者はいない、という具合に。

ところが、北大大学院の進化生物学者、長谷川英祐准教授著の「働かないアリに意義がある」の話題を目にしてしまったのです。私は正しいことを当時の子どもたちに伝えていなかったのです。

「虫の視点で人間の世界を見るとどんな風に見えるのだろうか、考えたことがありますか。」

長谷川氏の問いかけです。……動物は基本的に無駄なことをせずに、自分のためや子どもを残すために役に立つことしかしません。そういう観点で人間を見ると、人間がいる意味って、「無駄なことをすること」、もしくは「無駄なことを楽しめること」だと思ふのです。芸術作品とか、音楽などは、生きていく上で絶対に必要なものではないけれど、生活を文化的に彩るという意味で人間を代表するものです。無駄なことをするのが一番人間らしいと言えらると思います。現代は成果がすぐに見えないといけないう社会の流れがありますが、昔の生活にはもう少し余裕があったのではないかと思います。

私たちは、普段、地上でエサを集めているアリだけを見ているので、アリには、食べ物があるところにたくさん集まってきて、その食べ物を一生懸命運んでいるイメージがあります。ところが、巣の中には働いていないアリがいて、しかも全体の7割ぐらゐは何もしていないことが分かってきました。

アリも動物なので、いつも働いていると疲れてきます。疲れて働けなくなつたとき、普段働いていないアリが代わりに働くことができるのです。巣の中の仕事に関しては、働かないアリがいる方が、ちゃんと処理ができるようです。

そして、アリたちには処理能力に大きな差があるということはないようです。単に、その仕事がやりやすいかどうかということだけで働くかどうかが決まるのです。エサ集めが得意なアリと苦手なアリがいると、得意なアリがいつもエサを集めてくると考えられます。そして、色々な仕事に対して苦手なアリがいると、たとえ本人にやる気があつたとしても、得意なアリが先にこなしてしまうので、結果的にずっと働けないという状態になってしまうのです。誰もやらないということは避けられます。

人にもあてはまることですが、社会性の視点の違いをあえて言うならば、効率とはなんだろうと考えると、働かない者がいる社会は短期的な効率は悪いですよね。全員が働く社会の方が、短期的な効率を考えるといいはずなのに、いつも働かない者がいるようなシステムを持っているというのは、長期的に減びないために重要なことであるというのが、私たちの研究の結論です。

人間の社会や経済においても、短期的な効率だけではなく長期的に社会を維持するにはどうしたらよいかを考えたとき、働かない者がいることがあつてもよいのではないかと思います。虫や動物の生活を見ると、そういうことを思い起こさせてくれます。

人間的ではないと思いますが、サステナブル（持続可能）かどうかを考えてみると、とても効率的で継続的なものかもしれません。

後期課程学校祭が行われました

9月9日(土)後期課程の学校祭が行われました。4年ぶりに人数等の制限なしでの開催となり、たくさんの方々に生徒たちの活躍する姿を見ていただくことができました。

まずは実行委員会である生徒会による、学校祭を盛り上げるパフォーマンスが取り入れられた開会式の後、各学年代表2名ずつの弁論発表が行われました。どの発表も自分の主張をしっかりと伝える素晴らしいものでした。最優秀賞は9年生 高田 宙さんが受賞しました。おめでとうございます。



その後は午前に7年生と8年生、午後に9年生の学年発表が行われました。どの学年の演劇も本当にレベルが高く、保護者の方々からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。限りある時間の中での練習でしたが、学年が協力し練習に取り組んだ成果が表れるものとなりました。



午前最後には実行委員会企画が行われました。苦勞して撮影したチャレンジ動画を中心に、生徒も参加できる楽しい企画でした。また、午後の吹奏楽の発表も、それまでの練習の成果が発揮される素晴らしいものでした。10月に行われる定期演奏会も楽しみです。



今年度の学校祭は、コロナ禍前の学校祭にかなり近づいたものになったのではないかと思います。そして何よりも、生徒一人一人が輝く学校祭になりました。今回の成果を、ぜひ今後の生活にも生かして行ってほしいと思います。

地域公開参観日を実施しました

9月16日(土)に地域公開参観日を実施しました。連休の初日にもかかわらず、多くの皆様に来校いただきました。また、今回は保護者の皆様に加え、地域の皆様にも多数ご来校いただき、子どもたちや学校の様子をご覧いただきました。大変ありがとうございました。



8年生職場体験

9月21日(木)に8年生が職場体験学習を行いました。町内11か所の事業所にお世話になりました。大変ありがとうございました。

今回の職場体験を通して、働くことの意義や大変さを感じたことと思います。そして、生徒たちが今後、自分の進路を考える際の参考になる貴重な体験となりました。また、今回の職場体験の成果を発表する場として10月19日(木)に職場体験報告会を実施する予定です。



合唱ワークショップ

9月12日(火)に、5・6年生で合唱ワークショップが行われました。これまでは、後期課程で行われていましたが、今年度は、前期課程にも範囲を広げて行いました。

5・6年生が講師の先生から、基本的な発声の仕方や実際の合唱までご指導いただきました。子どもたちは、楽しく、そして真剣に取り組んでいました。10月には後期課程でもワークショップを行う予定です。



晴天の中 稲刈りをしました

9月20日(水)に予定していた稲刈りですが、天候不良のため22日(金)に変更して行いました。当日は見事な秋晴れの下、ボランティアの皆さんにご指導いただきながら、4年生と5年生、3年生と6年生がたてわり班ごとにペアを組み、協力して稲刈りに挑戦しました。どの子どもも夢中になって作業に取り組んでいました。

地域の基幹産業である米作りについて、地域の方と触れ合いながら経験できたことは、子どもたちにとって大変貴重な財産となりました。お世話になったボランティアの皆様、ありがとうございました。



10月の予定

- | | | | |
|--------|---|--------|---------------------------|
| 2日(月) | 交通安全街頭指導(後期) | 13日(金) | 放課後パトロール
合唱ワークショップ(後期) |
| 3日(火) | 学芸会特別時間割開始
上教研中部地区研究大会(2時間授業) | 15日(日) | 吹奏楽部定期演奏会 |
| 4日(水) | 全校集会 | 17日(火) | 生徒総会、研修日 |
| 5日(木) | ひろがり文庫(1, 2年)
教育相談(~16日 後期)
2計測・視力検査(~16日 後期) | 18日(水) | 学芸会実行委員会②
スクールカウンセラー来校 |
| 6日(金) | 職員会議(前期) | 19日(木) | 学芸会児童公開日
職業体験報告会(8年) |
| 7日(土) | PTA教養部講座 | 20日(金) | 学芸会実行委員会③、前日準備 |
| 9日(月) | スポーツの日 | 21日(土) | 学芸会一般公開日 |
| 10日(火) | あいさつ運動(~16日)
演目打合せ(前期) | 23日(月) | 振替休業(前期) |
| 11日(水) | 職員会議(後期)
演劇ワークショップ(4・6年) | 24日(火) | 学芸会后片付け |
| 12日(木) | 学芸会実行委員会①
9年学力テストB | 25日(水) | 避難訓練 |
| | | 26日(木) | 9年期末テスト(~27日) |
| | | 27日(金) | 委員会(前期)、貯金日(前期) |
| | | 30日(月) | 保護者進路説明会(後期) |
| | | 31日(火) | 後期課程生活体験(6年)
貯金日(後期) |